

新しい交通システム  
ニュース

Vol.12  
特大号

新しい交通システムの導入に関する事項を答申！

1月26日（月）に新しい交通システム導入検討委員会から市長に対し、「新しい交通システムの導入に関する事項」についての答申が行われました。検討委員会は、定時性や速達性を備えた信頼性の高い公共交通として、市南部地域の拠点間の連携を強化することなどが期待される「新しい交通システム」の検討を進めるため、平成25年2月から、およそ2年間全13回にわたり多様な視点から検討を重ね、その結果、システム、ルート、段階的整備、実現化方策などを今回の答申として取りまとめました。

検討委員会の検討経過

新しい交通システム導入検討委員会には、公募市民3名の方をはじめ、南区区内全7地区のまちづくり会議代表者や学識経験者のほか、商業者、企業・大学、警察、バス事業者などの関係者の方々が委員として参画されました。

検討委員会では、平成21年に市が実施した新しい交通システム導入基本計画（案）に係るパブリックコメントや地域説明会において、現状の交通問題や導入の必要性に対する疑問、地域への影響に対する不安、検討の進め方に対する不満の声などが多く寄せられたことを踏まえ、再度原点から検討を行うこととし、現状の問題、必要性、計画案、実現化方策等について、多様な視点から検討を行うとともに、「区民討議会議」や「意見交換会」の場で直接伺った市民の皆様からのご意見を議論に反映しながら、検討を進めました。



▲市長への答申の様子  
中村委員長（中央）、金子副委員長（右）

答申の概要

市南部地域の交通の現状と問題

「バス交通」「自動車交通」「自転車交通」「ターミナル」「都市拠点」の5つの視点から、交通の現状と問題を次のとおり整理しました。

●「バス交通」の問題

- ① 「相模大野駅～北里大学・病院、女子美術大学間」のバス路線は、市内で最も運行本数が多く、1日に10,000人以上が利用している。
- ② 「相模大野駅～北里大学・病院、女子美術大学間」のバス路線は、交通渋滞により定時性・速達性が確保されていない。

●「自動車交通」の問題

- ① 国道16号や県道51号、県道52号等で慢性的に道路が混雑している。
- ② さがみ縦貫道路の整備により、アクセス路となる県道52号等では交通量が増加すると予想され、道路混雑のさらなる悪化が懸念される。

●「自転車交通」の問題

- ① 通勤・通学等の自転車利用が多く、自転車交通量が1日に4,000台を超える場所がある。
- ② 自転車通行環境が未整備な区間が多く、自転車と歩行者、自動車が錯綜している。

●「ターミナル」の問題

- ① 相模大野駅北口では、駅前広場の処理上、女子美術大学行き路線バス、北里大学スクールバスが、駅前広場以外の場所から運行しており、鉄道との乗換え利便性に問題がある。

●「都市拠点」の問題

- ① 将来に渡って、市の経営基盤を支えることが期待される「企業」「大学」「医療施設」「商業施設」が立地する市南部地域の拠点間の連携や、各拠点と鉄道とのアクセス強化が必要となっている。



▲県道52号の様子

■新しい交通システムの目標

市南部地域の交通問題の改善に貢献する新しい交通システムの目標として、次の目標を設定しました。これらの目標に対応する新しい交通システムを導入し、交通環境の改善やまちづくりを進める必要があります。



■システム

定時性・速達性に大幅な改善が期待でき、事業費がミニ地下鉄、モノレール、新交通システム（AGT）、LRT、ガイドウェイバスといった他のシステムと比べて安価で、段階的な運用が可能となる「新しいバスシステム」の導入を図る必要があります。

新しいバスシステム	路線バスをベースとし、走行形態、車両、駅・停留所、運賃収受、運行方法、優先信号等の改善を組み合わせたもの。
導入空間と走行形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路内のバス専用走行路を基本とするが、交通状況・道路状況に応じて、バス優先レーンや一般レーン走行を可能とし、相模大野駅周辺地区においては、マイカー流入規制を想定した定時性・速達性向上にも取り組む。</li> <li>・走行位置は、バス専用走行路の場合には中央走行、バス優先レーンの場合や一般レーン走行の場合には路側走行を基本とする。</li> <li>・必要な空間を確保するために道路整備や交差点改良、バスベイ改良等を実施する。</li> </ul> <div data-bbox="2493 955 2789 1123" data-label="Image"> </div> <p>【参考】バスベイ整備例（北里東病院バス停）</p>
車両	<p>■バス専用走行路 終日に渡って、バスの専用走行空間とするもの。</p> <p>【参考】4車線道路での導入イメージ</p> <p>輸送力やターミナルの運用改善、輸送効率の面から、2つの車体をつなげた「連節バス」による運行を基本とする（段階的な導入を想定）。</p> <p>【参考】厚木ツインライナー 全長：17.99m 幅員：2.55m 定員：130人（乗務員を除く） 最小回転半径（車両性能）：9.543m</p> <div data-bbox="2389 1669 2700 1837" data-label="Image"> </div>
中間駅設置の考え方	速達性の確保を重視した駅配置を基本とするとともに、一定数以上の利用者を確保することとする。また、具体的な内容はバス路線の再編検討とあわせて検討する必要がある。

■ルート

新しい交通システムの目標に対応する「相模大野駅～麻溝台地区（北里大学・病院、女子美術大学）～原当麻駅」間を結ぶルートを基本に、拡幅整備計画のある県道52号を最大限活用するルートへ導入を図る必要があります。

■段階的整備

県道52号の拡幅整備スケジュールに対応した短期・中期・長期（※）での段階的な取組により整備を進め、公共交通利用促進策や新たなまちづくりとの連携強化等にも取り組みながら、新しい交通システムの実現を図る必要があります。

※短期：基本計画策定後概ね3～5年以内、中期：同5～10年以内、長期：同10～20年以内（各年数は目安）

【短期取組】 運行形態：相模大野駅～女子美術大学間において連節バスによる急行バスの運行



【中期取組】 運行形態：県道52号（相模原公園入口交差点～西大沼4丁目交差点間）にバス専用走行路を有する交通システム



【長期取組】 運行形態：全区間において高い定時性・速達性を確保した交通システム



**凡例**

- バス専用走行路【道路拡幅】※破線は事業中
- バス優先レーン【道路拡幅】※破線は事業中
- 一般レーン走行【部分改良】※破線は事業中
- 交差点改良
- バスベイ改良
- マイカー流入規制(時間帯限定)
- 麻溝台・新磯野地区、当麻地区との連携強化
- 検討
- 実施
- 〇〇〇 拡幅又は新設整備による専用走行空間の確保を含めた定時性・速達性の向上(※具体的な整備ルートを示すものではありません)

■実現化方策

新しい交通システムの実現に向けた課題は次のとおりです。これらの課題への対応については、市において、短期・中期・長期の各段階の必要な時期に、別に定める進行管理組織による進行管理などを通じて適切に行う必要があります。

課題の項目	主な内容
「整備内容」に関する課題	①整備計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶中間駅の決定、走行空間等の詳細計画</li> <li>▶長期取組におけるさらなる専用走行空間の整備等の検討</li> </ul>
	②整備に関連する交通規制等 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶交通規制(バス専用走行路、バス優先レーン、マイカー流入規制等)の実施に向けた検証、交通管理者や地域等との協議・調整</li> </ul>
「実現」に関する課題	①沿線地域との合意形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶取組内容の情報発信や沿線地域の関係者の意見聴取</li> <li>▶継続的な市民意識の変化等の把握</li> </ul>
	②既存バス路線の改善・再編等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶既存バス路線の具体的な改善策の検討・実施</li> <li>▶地域やバス事業者との協議・調整を踏まえた既存バス路線の再編等</li> </ul>
	③新しい交通システムの実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶着実な導入を可能とする整備方式や持続的・安定的な運行を可能とする事業方式の検討</li> <li>▶交通管理者やバス事業者等関係機関との協議・調整</li> <li>▶国の支援策の有効活用</li> </ul>
「目標やまちづくり」に関する課題	①地域の交通アクセスの向上・自動車利用に過度に依存しない交通環境の実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶交通結節機能の拡充による自転車・路線バス・鉄道等との交通アクセス性の向上</li> <li>▶地域、沿線企業・大学、バス事業者等との連携による過度な自動車利用の抑制や公共交通利用促進策の実施</li> </ul>
	②南部地域のまちづくりや社会動向への対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶麻溝台・新磯野地区や当麻地区の新たなまちづくりや市内の他の拠点との連携</li> <li>▶環境問題・交通安全・高齢化等への対応</li> <li>▶社会経済情勢など外部環境の変化への対応</li> </ul>

今後の予定

今後、市では新しい交通システムの導入の必要性やシステム、ルート、段階的整備など、本答申の内容について、説明会の開催などにより市民の皆様幅広く周知を図ってまいります。

その後、平成27年度には「新しい交通システム導入基本計画(案)」の策定、同案に係るパブリックコメントを実施し、市民の皆様のご理解が得られる基本計画を策定し、新しい交通システムの早期実現に向けて取り組んでまいります。

新しい交通システムの導入検討に関する情報は市ホームページでご覧頂けます。  
<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/toshikotsu/20803/27891/index.html>  
 ※新しい交通システム導入検討委員会からの答申内容、検討委員会における討議資料や会議録は、市ホームページのほか市行政資料コーナー（市役所本庁舎・南区役所）でもご覧頂けます。

新しい交通システムの導入検討に関するお問い合わせ・ご意見は  
 相模原市 都市建設局 まちづくり計画部 交通政策課  
 〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15  
 TEL : 042-769-8249 FAX : 042-757-6859 E-mail : toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp